



社会へのアピール

日本応用地質学会 東北支部



平成17年度「迫りくる宮城県沖地震に備える(その3)」 — 気楽に「揺れ易さマップ」DIG —

平成15年度および平成16年度のシンポジウムにおいて、地質や地震に関する基礎的なことを解説してきました。3回目となる今回のシンポジウムでは、より具体的な地域防災活動に役立つ方法として、地質・地盤状況を考慮した災害図上演習(DIG)を実践いたしました。DIGのやり方の説明を行い、丘陵部4班、平野部4班の計8班に分かれてDIGを実践してみました。最後には、優秀賞2班の表彰を行いました。

DIGとは？

日本応用地質学会東北支部平成17年度シンポジウム
迫りくる宮城県沖地震に備える(その3)

今度のシンポはチョット違う！

気楽に「揺れ易さマップ」DIG

DIG(ディグ)は、Disaster(災害)、Imagination(想像力)、Game(ゲーム)の略称で、参加者が地図を使って防災対策を検討する訓練のことです。

13:00 開会
～13:40 これまでのまとめ、今回のDIGの進め方
～15:45 気楽に「揺れ易さマップ」DIG
～16:15 参加者による発表
～18:25 総評と優秀賞表彰 16:30 閉会

地震時の揺れ易さの違いを手軽に知って、町内の地震防災に役立てたい、そんな皆さん一般に手に入る資料を使って、地質・地盤の専門家と一緒に試してみませんか

- 参加者：事前申込み制(先着順、定員になり次第締切り)
- 募集対象：防災、町内会などの代表者、個人(50名程度)
- 申込み：氏名・所属・住所・連絡先FAXをご記入ください必ずFAXで下記事務局へ
- その他聴講・見学の方：参加自由、事前申込不要、直接会場へ

平成17年11月11日(金)13:00～16:30、参加費無料
仙台市シルバーセンター7F 第1研修室
仙台市青葉区花京院1-3-2(JR仙台駅徒歩5分)
TEL:022-215-3191

主催：日本応用地質学会東北支部 協賛：東北地質調査協会
後援：国土交通省東北地方整備局、宮城県沖地震対策協議会、NHK仙台放送局
共催：国土交通省東北地方整備局、宮城県沖地震対策協議会、NHK仙台放送局
協賛：日本応用地質学会東北支部、事務局(仙台) 協賛：(仙台) 協賛：(仙台)
FAX:022-215-0476 (ご質問は、宅配FAXまたは、E-mail: jseg-tohoku@yahoo.co.jp) 申込み締切りご案内ホームページ: http://www.soc.ni.ac.jp/jseg/tohoku/



DIGの作業風景。各班には、学会員が2名ずつ付き指導を行いました。



DIG完成品の例、平野部(仙台駅～海岸付近)



表彰の様子。優秀賞獲得した班には、ちょっとした防災グッズをプレゼント

出来上がったDIGについての発表の様子

平成16年度「迫りくる宮城県沖地震に備える(その2)」 — ここはどれだけ揺れる？ 地域防災に役立つ地盤図、地質図の解説 —

平成15年度は、自分たちの足元(地盤、地質)の重要性を知ってもらうためのシンポジウムでしたが、2回目である今回は、防災活動に役立つため、地震被害想定との根拠ともなる地質図や地震地盤図の説明および読み方を解説いたしました。

パネル討論では、専門知識の橋渡し(Bridging)や防災活動の連携、また、情報の共有化などをテーマとして行いました。今回も地元の記事に大きく取り上げられました。



パネル討論の様子



表層地盤区分を立体表示(鳥瞰図)のデモの様子。一般の人にもわかりやすい表現を試みました。



ポスターの展示風景。地盤情報の活用の仕方など具体的な例をあげて説明しました。



聴衆の状況。多くの市民が参加しました。

日本応用地質学会東北支部平成16年度シンポジウム
迫りくる宮城県沖地震に備える(その2)

— ここはどれだけ揺れる？ 地域防災に役立つ地盤図、地質図の解説 —

プログラム
13:00 開会挨拶
13:05～14:35 基調報告3編
14:50～16:15 パネル討論
『防災に役立つ地質の情報、専門家から一般家庭へ』
16:15～ 質疑応答
16:30 閉会

パネル討論では、4名の専門技術者と、仙台市婦人防火クラブ連絡協議会長村主竹子氏を迎え、地震被害想定の利用法、防災マップへの地質・地盤情報の生かし方、地域防災マップの課題などを話し合います。11:00～12:00 パネル討論に関連したポスター展示を行います。

平成16年11月12日(金)
13:00～16:30 参加費無料
青年文化センター 2F 交流ホール
〒981-0904 仙台市青葉区旭ヶ丘3-27-5
TEL:022-276-2110 FAX:022-276-2108

主催：日本応用地質学会東北支部 協賛：東北地質調査協会
後援：国土交通省東北地方整備局、宮城県沖地震対策協議会、NHK仙台放送局
共催：日本応用地質学会東北支部、事務局(仙台) 協賛：(仙台) 協賛：(仙台)
電話：022-237-0471 Fax:022-237-0476 E-mail: jseg-tohoku@info.nie.jp
ホームページ: http://www.soc.ni.ac.jp/jseg/tohoku/

平成15年度「迫りくる宮城県沖地震に備える」 — 今、あなたが居るところは大丈夫？ —

過去の地震災害調査から得られた、地形・地質学的教訓を紹介しました。一般の方々に迫りくる宮城県沖地震に備えるために、まず自分の足元(地盤、地質)知ることが重要であることを知っていただければと思い開催いたしました。

当学会として、どのようにアプローチすればよいか手探りの状況での開催でしたが、予想以上の参加者に恵まれ、世間の関心の高さを実感いたしました。

このシンポジウムは報道機関に大きく取り上げられました。

「M8.0が襲う！」
地形・地質の知恵を活かして
災害から身を守りましょう

シンポジウム
**「迫り来る宮城県沖地震に備える」
— 今、あなたが居るところは大丈夫？ —**

日時：11月14日(金)午後1時～4時20分
会場：仙台市青年文化センター交流ホール
〒981-0904 仙台市青葉区旭ヶ丘3丁目27-5 TEL:022-276-2110
入場：無料

主催：日本応用地質学会東北支部 協賛：東北地質調査協会
後援：国土交通省東北地方整備局、宮城県沖地震対策協議会、NHK仙台放送局
共催：日本応用地質学会東北支部、事務局(仙台) 協賛：(仙台) 協賛：(仙台)
TEL:022-237-0471 Fax:022-237-0476 E-mail: jseg-tohoku@info.nie.jp
ホームページ: http://www.soc.ni.ac.jp/jseg/tohoku/



簡易モデルを使った液状化実験の実演。



会場の様子。準備した会場がいっぱいになりました。



パネルディスカッションの状況。田野支部長(当時)をコーディネーターとして4人のパネリストが話題を提供しました。



宮城県北部地震のパネル展示も行いました。